

1 - 5 北海道の地殻変動

Crustal Movements in Hokkaido

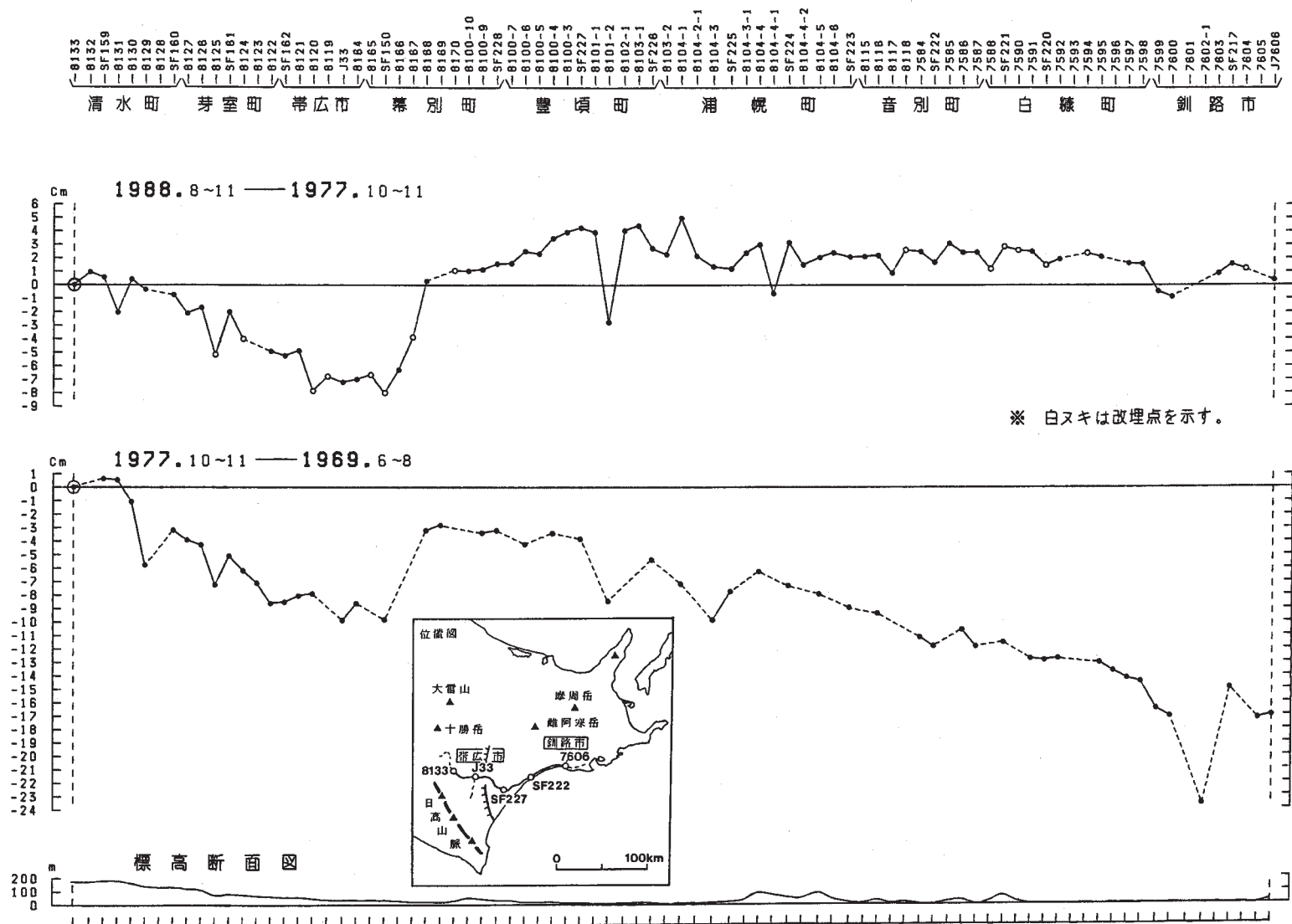
国土地理院

Geographical Survey Institute

第1図は、1988年7月～11月に実施した清水から帯広を経て釧路に至る路線の水準測量結果である。芽室から帯広にかけて8cmを越える沈降がみられる。十勝平野の東縁には活動度Bの活断層が存在し、沈降域の境に当たっている。これより東の豊頃付近では、4cm程度の隆起が見られる。前回の測量に見られた釧路側への傾動は、今回は現れなかった。

参 考 文 献

- 1) 国土地理院地殻活動調査室：北海道東南部の上下地殻変動，連絡会報，**3** (1970)，6 - 8.
- 2) 国土地理院測地部：北海道東南部地方の上下変動，連絡会報，**20** (1978)，6 - 7.
- 3) 国土地理院：北海道・東北地方の地殻変動，連絡会報，**40** (1988)，8 - 11.



第1図 清水～帯広～釧路間の上下変動

Fig. 1 Level changes along the route from Shimizu to Kushiro via Obihiro.